

ジャパンSDGsアワード副本部長賞（内閣官房長官賞）を受賞し、令和元年には鹿児島県初となるSDGs未来都市にも選定されました。更に、「リサイクルの町から世界の未来をつくる町へ」というコンセプトの下、資源循環を中心としたこれまでのSDGsに関する取り組みを加速させるため「大崎町SDGs推進協議会」を設立しており、

また、本町はリサイクルを中心に「資源循環型のまちづくり」に永年取り組んでいます。若年層の人口減少が急速に進行する中で、「人の循環」は極めて大切なことに気付き、大崎町で育った人材が「勉学に励むことを支援し、再び大崎町に戻ってくる。定住する。」ことを目的にした、「大崎町リサイクル未来創生奨学金」制度を創設しました。これは鹿児島相互信用金

庫大崎支店からリサイクル未来創生奨学ローンを借り、返済した場合に全額を助成する（諸条件あり）ものですが、財源的にはリサイクル売却益金とふるさと納税の一部を基金として積立て活用しております。利用者も年々増加しており、持続可能な大崎町の担い手が育ちつつあることをありがたく思っています。

次に、「財源不足を解消したい」という強い思いで取り組んだふるさと納税については、特産品のPRや町内生産者等の活力と意欲の向上につながり、平成27年度は約27億円、28年度が約17億円、29年度が約23億円、30年度が約17億円、令和元年度が約28億円、2年度は約50億円という多額のふるさと納税を頂くことができました。町税とふるさと納税の2枚看板ができ、子育てや教育・環境等施策の財源として活用させていただいております。

さて、これまでの20年という期間、町民・町議会・町職員をはじめ多くの皆様方に支えていただきながら町政を担わせてい

ただき、成し遂げられたことも多いと感じておりますが、その一方で未だ道半ばの課題もござりますので、これまで取り組んできた施策を土台とし、これからも町民の皆さんに信頼され、誇りに思ってもらえるような町づくりに向け精一杯頑張ってまいります。

先の町長選挙立候補の際に皆様方にお示ししました、次の公約を主要施策にしながら、山積する諸課題に取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、新しい年が、皆様にとりましてますますご健勝で幸多い一年になりますことを心からお祈り申し上げます。さつといたします。

私の公約

◎ 資源リサイクル・SDGs・

ふるさと納税・スポーツと観光を核に活力あふれ未来へつなげる町づくり

◎ 農林水産業の振興・農業生

産基盤の整備・農業公社設立・新規就農者支援・基幹作物導入・有機農業推進・さつま芋基腐れ病対策・有害鳥獣被害対策

◎ 稼ぐ自治体づくり・地域経済循環型の町づくり

◎ 教育環境の充実・児童生徒の国内外交流の推進

◎ 産官学民連携で事業推進

◎ 移住定住・年少人口対策

◎ 健康長寿・生涯学習及びスポーツ環境の充実

◎ 防災減災等命と暮らしの安全対策・生活環境の整備

◎ 新型コロナウイルス感染症対策とコロナ禍における生活・事業支援

◎ 行財政改革・多文化共生社会の推進

◎ 子育て支援（給食費軽減等）

令和4年1月

大崎町長

東 靖 弘